



## 4 第14回高萩桜まつり 4~19

市内各所で桜が見頃を迎えた4月4日から19日までの間、さくら宇宙公園と花貫さくら公園を会場に、毎年恒例の「高萩桜まつり」が開催されました。さくら宇宙公園では、期間中に臨時の飲食売店を設



花貫さくら公園  
(ソメイヨシノなど約300本が咲き誇る)

置。花冷えの天候が続いたにも関わらず、約7,600人が来場し、約200本を数える満開の桜並木のもとで、のんびりと春を満喫する姿が見られました。

## 4 中学生がハワイでホームステイ 3~8

高萩市国際交流協会主催の海外派遣事業が、4月3日から8日の日程で行われました。26回目を迎える今年は、10名の中学生が参加。アメリカ合衆国ハワイ州のカメハメハ学園と交流し、カメハメハ学園ゲストハウスへの宿泊や授業を体験。また、ハワイの文化を学ぶため、カメハメハ学園生徒宅でのホームステイや戦艦ミズーリ記念館、イオラニ宮殿などの見学も行いました。



カメハメハ学園内「カイワキロモクハワイアン文化センター」にて記念撮影

## 3 国井美香記念 29 スプリングコンサート

高萩市出身でイタリアを拠点に活躍しているコントラルト歌手の国井美香さんの帰国を記念して、市内中学生と高萩市民吹奏楽団による「国井美香記念 スプリングコンサート」が、文化会館で開催されました。このコンサートは、国井美香さんが市内の音楽文化の振興に役立てて欲しいと、リサイタルの収益金などから寄附いただいた「国井美香基金」を用いて開催したものです。1部では、秋山中学校、松岡中学校、高萩中学校のブラスバンド部の皆さんが、「広野に行く」や「マーチ・エイプリル・メイ」、「青い水平線」など、この日のために練習してきた全7曲を演奏。2部では、高萩市民吹奏楽団による迫力ある演奏が行われるなど、子どもから大人まで楽しめるコンサートとなりました。



## 4 向洋台団地で春祭り 12

向洋台団地(自治会長：三好敏春)で「春祭り」が開催されました。この催しは、団地内住民の懇親を深めることを目的に、今年で11回目の開催。当日は、会場となった中央公園の桜も満開の中、フラダンスやカラオケ、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。



同日自治会では、自主防災活動をはじめ地域コミュニティ活動が積極的に行われています。

この事業は、中学生が海外の同世代の青少年との交流をとおして、相互に見聞や理解を深めると共に、これからの国際社会を担う人材育成を目的に実施されています。1990年に第1回が実施された後、今回を含めると383名の中学生が参加しています。



## 4 10 東小学校で避難訓練

東小学校では、災害発生時に子どもたちが自分自身で適切な判断ができ、迅速に避難するための行動を身につけるため、地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。同校では、東日本大震災以降、高台への津波避難訓練は今年で5回目。



この日は、地域の自主防災会による避難誘導の協力を得ながら、新1年生を含む全児童が、避難の目標時間をめざして高台にある高萩高校までかけ足で避難。実際に避難訓練を体験した児童からは、「目標時間の達成に向けて、1年生と一緒に精一杯頑張ることができた。」との声も。避難経路の確認や安全で迅速な避難方法について学ぶことができました。



上級生は下級生の手を引いて高台へ避難

## 4 19 さくら宇宙公園で公開天文台

さくら宇宙公園内にある宇宙科学教育センターで公開天文台が開催されました。この公開天文台は、子どもたちや地域の皆さんに宇宙科学に親しんでもらうためはじめたもので、今年で6回目の開催です。

当日は、電波望遠鏡として使われている直径32mあるパラボラアンテナの中軸まで上り、高さ約20mからさくら宇宙公園の景色を楽しみながら、電波観測方法や電波望遠鏡の特徴などを学びました。午後からは「天の川銀河とつながる人間」と題した講演会が開催され、宇宙を考える学びの1日となりました。



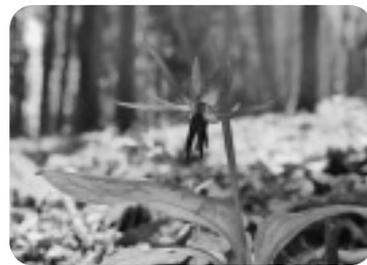
パラボラアンテナからの景色

## 4 11~12 下君田で姫カタクリまつり

4月11日、12日の2日間にわたり、「姫カタクリまつり」が開催されました。

姫カタクリは、下君田の緑の里コミュニティセンターから徒歩約15分のところにある約5,000㎡の斜面に約10万本が群生。太陽が出ると花が開き、雨が降ると閉じるという繊細で愛らしい紫色の花が、訪れる人の目を楽しませていました。

また、センターでは、群生地保護に努めている姫カタクリ愛好会(代表：鈴木康夫)の方々による草餅やおこわの販売、甘酒の無料配布などもあり、見ても食べても満足する2日間となりました。



餅やおこわの販売、甘酒の無料配布などもあり、見ても食べても満足する2日間となりました。

## 4 12 丹生神社の「棒ささら」

下手綱にある丹生神社で例祭が行われ、「棒ささら」が奉納されました。無病息災、五穀豊穡を願い、竹の先に付けられた獅子頭を操りながら屋台の中を動き回る棒ささら。太鼓と笛の音色とともに獅子舞の姿が披露されました。江戸時代から続くも一時中断、昭和58年に地元の方々の取り組みにより約60年ぶりに復活。全国的にも珍しい芸能で、市の無形民俗文化財に指定されています。



無病息災、五穀豊穡を願い、竹の先に付けられた獅子頭を操りながら屋台の中を動き回る棒ささら。太鼓と笛の音色とともに獅子舞の姿が披露されました。江戸時代から続くも一時中断、昭和58年に地元の方々の



取り組みにより約60年ぶりに復活。全国的にも珍しい芸能で、市の無形民俗文化財に指定されています。

地元のたつご子ども会による市民ばやしの演奏

## まちの情報をお寄せください

▷企画広報課 広報・広聴グループ

☎23-2118 FAX24-4653

E-Mail info@city.takahagi.lg.jp